



## OVERVIEW

- 神道の起源
- 神社の多様な姿
- カミとは何か
- 神道の特徴

## 神道の起源

- 神話から歴史へ
- 記紀神話
- 古事記 (*Chronicles of Ancient Times*)、712年
- 日本書紀 (*Chronicles of Japan*)、720年
- 仏教との関係

## 神社の多様な姿

A Diversity of Shinto Shrines





●創建年不明（日本書紀に記述あり）  
●主祭神：  
●神宮では原則として20年ごとに、内外両宮の社殿を  
造り替える。2013年がその年にあたった。





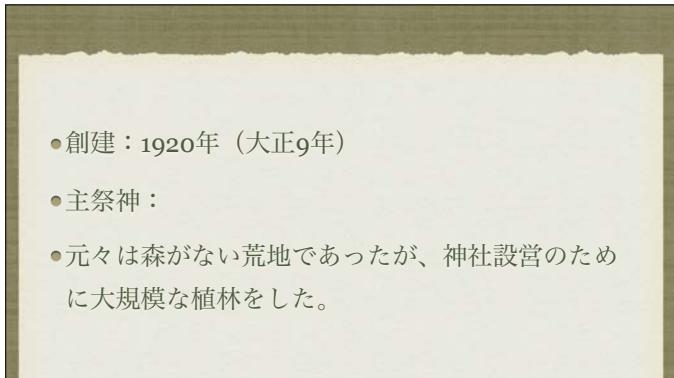
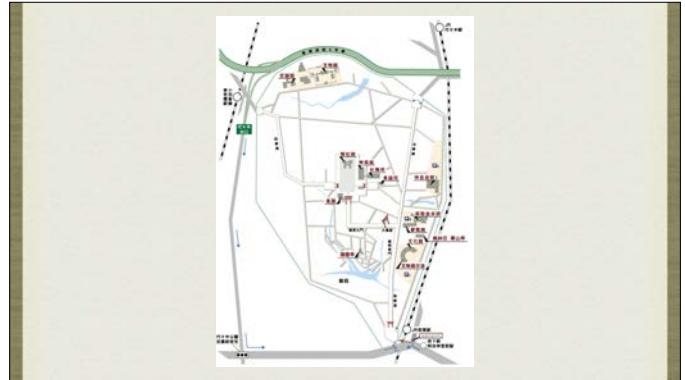


●創建：和銅年間（708～715年）  
●主祭神：宇迦之御魂大神（うかのみたまのおおかみ）  
●全国約3万社の の総本宮



●創建年不明  
●主祭神：  
●「日本最古の神社」とされてきた。  
● を神体としており、本殿を持っていない。







●創建：1869年（明治2年）

●1869-1879年、東京招魂社、その後、改称。

●主祭神：



[参照] 米・アーリントン国立墓地



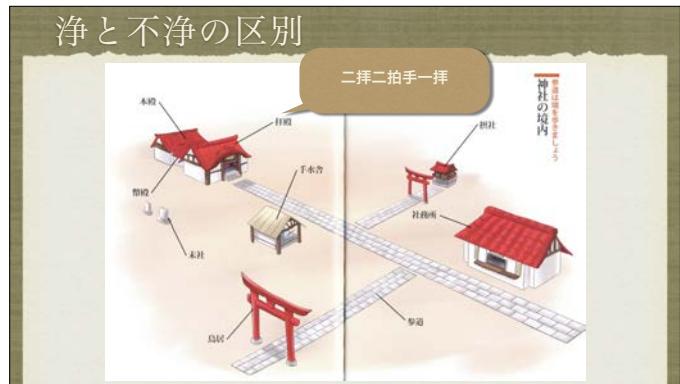
- 創建：947年
- 主祭神：
- 天神信仰の中心
- 御靈信仰+雷神信仰=天神信仰
- 中世以降、御靈としてではなく、学芸の神として信仰されるようになる。
- 梅、牛との関係が深い。多数の梅の木と「臥牛」。



カミとは何か  
What is a *kami* (god/deity)?

### 本居宣長による定義

- 「凡て迦微(カミ)とは、①古御典等(イニシエノフミドモ)に見えたる天地の諸(モロモロ)の神たちを始めて、②其を祀れる社に坐御靈(ミタマ)をも申し、③又人はさらにも云ず、④鳥獸木草のたぐひ海山など、其余何にまれ、尋常(ヨノツネ)ならずすぐれたる徳(コト)のありて、可畏(カシコ)き物を迦微とは云なり、」（『古事記伝』三ノ巻）
- ①神典の神々、②神社の神々、③人間の神々、④自然の神々



## 伝統儀礼の重視

- 新嘗祭、大嘗祭 (Harvest Festival)
- 11月23日に、天皇が五穀の新穀を天神地祇に勧め、また、自らもこれを食して、その年の収穫を感謝する祭儀。大嘗祭は、天皇が即位の礼の後、初めて行う新嘗祭のこと。1873年から1947年の間、大祭日であったが、その後、「勤労感謝の日」となる。
- 結婚式
- 伝統的には新郎の自宅で行われてきたが、明治以降、「神前結婚式」が広まる。

## 神前結婚式

Shinto Wedding  
in the Sumiyoshi Shrine, Osaka

神前結婚式  
-住吉大社-

2008年5月24日 (土)

## 地域共同体との一体性

- 祭り
- 新年の神社参拝 (初詣)、夏祭り (御神輿)
- 地鎮祭 (cornerstone-laying rite)
- 土木工事を始める前に行う、その土地の神を鎮め、土地を利用させてもらうことの許しを得る儀式。

## 多神教として

- 多神教 (polytheism) としての神道
- 八百万の神
- 一神教 (monotheism) との「質的」相違
- 記紀神話の神々
- イザナギ・イザナミ、アマテラス・ツクヨミ・スサノオ、・・・神武天皇

小林永灌、1880年代（ボストン美術館）